

OPEN CAMPUS 2019

参加申込み
不要!!

素敵がたくさん詰まった大商大!
オープンキャンパスでその魅力を確認しよう!

7/14日 7/21日

8/4日 8/10土

8/18日 8/25日

[開催時間] 10:00-15:00

遠方から
お越しの方は
無料宿泊
サービス
をご利用ください

参加頂いた方に
オリジナルトートバッグ
プレゼント!!

大阪商業大学
Osaka University of Commerce

会員と母校を結ぶ
校友会 会報誌

2019 No.20

校友



【記念対談】片山副学長 70周年を語る

【70周年を迎えて】写真でたどる10年間のあゆみ

大阪商業大学
Osaka University of Commerce

- 公共学部 / 公共学科
- 経済学部 / 経済学科
- 総合経営学部 / 経営学科・商学科



大商大創立 70周年 & 「校友」第20号 記念対談

高岸 暎治

校友会 会長

片山 隆男

大阪商業大学 副学長

大阪商業大学は2019年、創立70周年を迎えます。併せて、本誌「校友」は第20号の節目の発行となります。それぞれを記念して、副学長の片山隆男先生をお招きし、校友会の高岸暎治会長との対談を企画しました。70年を振り返りながら、これからの大商大や校友会への展望と期待をお話いただきました。

「俺たちはこう生きてきた。君たちはどうだ？」と
後輩を励ましてほしい

「本当にやりたいことで、
損得よりも大きいものを得ることができる」

昭和、平成から令和へ。
時代が求める
人物を育成する。

高岸会長（以下敬称略） 片山先生には卒業生一同お世話になっており、ここにまず深く感謝を申し上げます。さて、大阪商業大学が70周年を迎えて、昭和、平成、令和の3時代の中で、一貫して世に役に立つ人物の養成という教育をやってこられました。この70年間と今後について、世に役立つ人物の内容というものは変わっていくのでしょうか、お話をお聞かせください。

片山副学長（以下敬称略） 本学は今年、めでたく70周年を迎えます。先輩方がそれぞれの時代を大学で過ごされて、現在、社会で活躍されていますので、たいへんうれしく思っております。1949年に法律の制定を基に新制大学等が認められましたけれども、本学はいちばん最初に申請をして、新制大学になった先駆けの一つです。

この70年の歴史というのは、会長もご存じのように、戦後の復興から高度経済成長へと続いてきた時代です。それぞれの時代に合う意欲や能力を持った人物を育成するというのが、本学の基本的な精神だったと感じています。

戦後復興から高度経済成長ということは当然、産業界がそれぞれ新しい芽吹きや勃興の流れがあり、それに合わせて所得も増えてきますので、私たちの生活もどんどん変わっていった、そういう大きな変動期にあったわけです。そういう時に、私たちはオリンピック（1964年東京五輪）と万国博覧会（1970年大阪万博）という祝祭を経験しました。

1970年に入ると、いわゆる国際化の波がきました。為替が変動為

替制度に変わりましたし、我々が海外に行くということも可能な時代を迎えたのですが、同時にオイルショックを経験します。そのショックの後、社会は大きく変動するわけです。目標とする国、アメリカを抜いたという意識が国民の中に芽生えました。

その後何があるのかと申しますと、「地域社会」という言葉が出てきました。つまり、70年代の後半から我々の国は、地域を中心に人を必要とする時代、これからの地域をどうしていくのかという時代を迎えました。

高度経済成長期には工場を誘致した地方が、それ以降は煙の出ない工場である大学を誘致するような時代になったのです。地域の活性化に必要な人材、あるいは地域社会というものをどのようにつくっていくかに注力できる人材が求められたのです。

高岸 そのような変動があって、大学教育にも地域と人という視点が生まれたのですね。

片山 本学は社会科学系の大学ですけれども、その中に「経営」という言葉があります。これは、実は誤解を受ける言葉でして、戦後、経営学というのは企業経営のことです。高度経済成長時代にはふさわしい言葉です。ところが、地域の時代になってあらためて江戸期から振り返ると、実は経営というのは地域経営です。

それが70年代、80年代へと入っていった段階であらためて地域経営が現れます。本学が大学院をつくらうという時に、文部科学省は高度専門職業人を育成してほしいという通達を出しました。それを受けて、本学は地域政策学研究科を立ち上げますが、「地域」を冠する大学院は関西では本学が初めてだったように思います。

高岸 それはすばらしい先見で

すね。

片山 その時に、2代目の理事長であった谷岡太郎先生、専務理事であった谷岡一郎先生（現学校法人谷岡学園理事長・大阪商業大学学長）が考えられたのが、4つの柱です。世に役立つ人物というのは、これからの時代にはどういう精神や能力を持った人であるかというわけです。

「思いやりと礼節」、「基礎的実学」、「柔軟な思考力」。ここまでは定まったのですが、4つ目を「楽しい人生」にするかどうかということで議論がありました。楽しい人生というのは結果論になります。ある先生から生き方という言葉が出まして、一郎先生も「楽しい生き方」、つまり進行形の考え方をそこに込めて、4つの柱ができました。この4つの柱が今後どのように解釈されるかによって、大阪商業大学の未来が拓かれていくことになるだろうと思います。

地域の時代に移ると、少子高齢化やグローバル化によって地域が受ける影響は大きく変わってきます。例えば、観光で大いに潤っている地域もありますし、消滅集落がある地域もあります。これまで明治期からつくられてきた自治制度のなかでも地域が抱える課題が異なるわけです。本学で育つ学生も、どこかの地域で生活をし、働くわけです。自分が立脚する地域がどのような課題を抱えているか、自分がどういった地域に生きているのかということをしつかりと理解することが大切です。

基礎的実学においては、高校までに学んだことがベースになっています。高校生は指導要領に基づいた教科を勉強しますが、何のためにそれを勉強しているのかわからない。そのわからないものが合体するのが大学です。社会人

になればそれを活用することもできるようになります。本学ではそういうことをまず学生たちに初年次教育で理解してもらいます。つまり、自分の学びの履歴に対する気づきです。

実際に勉強し、スポーツをし、文化活動をし、ボランティアをしている自分というものを見つめている自分がある。そのなかで人と交流することによって、こんな問題を解決することができたということが出てくるかもしれません。そうした中で、自分のやっていることはささやかな貢献であるという謙虚さを持つこと。これが本学の4つの柱が持つ大なる意味だと私は思っています。



世に役立つ人物として チャレンジ精神を 持ち続けてほしい。

片山 話を続けさせていただくと、世の中が変わってきた流れのなかで、いちばん問題になるのが家庭の喪失です。家庭が存在し、家族というものが意味を持った時代が、今、大きく崩れつつあります。

本学にはアミューズメント産業研究所という機関があって、今の成熟社会の余暇活動を産業という視点でとらえてみようという研究の流れがあります。これは非常に意味があることです。家庭

というもの、家族の関係性は、実は余暇の過ごし方、例えば、家族でファミレスに行く、ディズニーランドに行く、そこでやっと家族の繋がりを確認する。つまり、日常の生活文化の中での繋がりでなくて、イベントによって家族であることを確認するのです。家庭のそういう関係性が生まれていて、それゆえに子どもたちは個人化するわけです。当然、様々な問題も起きます。事件も起きます。その根拠が家庭や家族の課題から生まれていると一般的に考えられています。

この問題を地域の目線で解決しようとしているのですが、当然、行き惑う若者がいます。いわゆる個人化した社会で孤立する若者たちが自分でこういうことをやりたい、自分で実現したいという気持ちを持ったとしても、結果は全部自分に返ってきます。けれども、未来に必要な、本学の建学の精神にある「世に役立つ人物」は、チャレンジ精神を持った人材ということになります。

本学の学生にも起業にチャレンジする学生が出てきています。ある新聞で、神戸にある高等学校の生徒が載せていましたが、卒業前に先生が呼び出して、君はこれからどうするのかと言われた時に、起業家になりますと言うと、その先生は鼻先で笑ったと。でも彼は何をやったかという、東南アジアでシェアハウスを経営しました。当初の資金はクラウドファンディングで集めて、成功させて、さらにチャレンジを続けたいと。

実はそれが大事なんです。高度成長期の時代の親の考え方は、偏差値の高い大学に行きなさい、公務員になりなさい、企業に勤めるなら一流企業と呼ばれる会社に行きなさい。銀行なんかはすば

らしい。けれども、そういう時代は残念ながら、もう続きません。

本学の学生には、人が笑おうと、それぐらいしか儲からないのかという話よりも、自分でチャレンジする意欲や生き甲斐を持って、この時代を生き抜いてほしいと思っています。

高岸 先生の話をお聴きして、思うところが2つあります。一つ目は、男女共同参画社会と言われていますが、一方で、男女の共同参画がうまくいかない場合は、家庭が崩壊していくという事例が起っています。もう一つは、小学生のいじめの問題。よく調べていくと、これは子どもに原因がとやうだけではだめな世の中になってきています。先生のおっしゃる通り、自分たちでどう考えて、どう切り開いていくかが求められているのです。

それにこんなこともありました。幼稚園の園長先生をなさった素晴らしい先生が、次の人生として「人間として、心の教育と地域のつながりを深める」為の喫茶店と催しもの出来る店を開けました。その先生が私におっしゃったのが「コーヒーを550円で売ったら、赤字です。どうしたらいいですか」と。

私が、でも、あなたが本当にやりたかった「心の教育…」はどんなんですかと言ったら、そちらの方は、黒字です。

よかったじゃないですかという話になりました。ですから、先生がおっしゃる通り、本当に自分のやりたいことを見つけて、それが損した、儲かったではなく、もっと大きいものを得ることができるということを最近学ばせてもらいました。

片山 そうですね。今、会長が言われたいじめの問題や共同参画を意識する、理解する、そういう

若者を育てていかないと考えます。教育というのは効果が上がるまでにもものすごく時間がかかります。事を急いでやってしまうと、本来の若者に伝えたいことが伝わらないという意味でろくなことにはなりません。



地域の時代が立ち上がって長い年月が経つと、地域の中にも自分の価値観だけを表す人が出てきます。ああいうものがくるとうちの土地の値段が下がるとか。つまり社会的な営みが自分の経済的な価値に影響を及ぼすじゃないかと、そういう論理が出てくるわけです。それはこれからもっと出てくると思います。

次々と新しい課題が出てくる時に、老若男女、LGBTの人たちも、いろんな方たちがどういうふうに一緒に生活をしていくか、許容していくかという心の広さがいちばんの基本になると思います。これは「柔軟な思考力」にも繋がりますけれども、そういう人々と楽しく共同生活を送っていくような地域の組み立てが、日本というものになっていくだろうと思っています。

若い人たちに願うことは、チャレンジする心を忘れてはいけないし、差別やいじめを見過ごす人間になってほしくないわけです。ましてや、するほうになってほしくありません。そのような意味で、新しい公共学というものを、

学科、学部にしたわけですから（2018年・公共学部公共学科）、これは建学の理念の行末、将来というものを見据えた一つの試みだというふうに思っています。

日本で初めての学部なので、最近はずいぶんこちらへ転入してくる生徒も出てきました。そういう生き甲斐を持って生きてほしいと心から願っていますし、80年、90年と、この大学が続いてほしいと私は思っています。

高岸 教育というのは教えて半分ということですが、先生のお話をうかがい、今は学校で先生だけで問題がすべて解決できないということですから、一丸となって、子どもたちを育てていくということが大事だということをよく感じました。先生、最後に校友の人たちにひとこと、いただきたいと思えます。

片山 そうですね。冒頭に申し上げたように、先輩方はその時代時代を背負って本学で学ばれて、社会で活躍されているという事実はまぎれもないことです。そういう目線で後輩を見ていただく時に起きる問題として、軟弱であるとか、ちっともあれこれしないとかいうお叱りがあります。それはおっしゃる通りなのですが、それはあなたの人生において本学で

過ごされた時期の過ごし方であって、すべて今の時代に投影しているわけではありません。

チャレンジする心を養うということに必要なのは、歴史を学ぶことです。過去に興味を持たない人間は未来を切り開くことはできません。ある有名な学者が「チャレンジする者は必ず歴史を学ぶ」と言っています。歴史を学ぶところにチャレンジ精神があるというわけです。

先輩方には、ご自身が過ごされた時代の凄まじさ、喜び、悲しみ、笑いというものを後輩に伝えていただきたい。俺たちはこうだったから、後輩もこうならないとかん、ではなく、俺たちはこういう時代を生きた。その時には日本社会はこうだった。君らはどうなんだ？と。また、自分はどういふふうに関係を結んでいったかをお伝えしたい。それが今の若者たちにとっては、大きな励みになると思います。

高岸 襟を正して私も頑張ります。今日はどうもありがとうございました。

[収録・令和元年5月28日 協力・大阪商業大学 ユニバーシティ・コモンズ リアクト 進行・校友会副会長 神戸直樹]





10年間の母校・大阪商業大学のあゆみ

平成20年4月 大学院地域政策学研究科経営革新専攻(修士課程)、
地域経済政策専攻に特別教育研究コース設置
エクステンションセンターをリエゾンセンターと名称変更

平成20年7月 JGSS研究センター開設

平成23年2月 研究棟(建替)竣工



研究棟

平成23年3月 学生寮「みくりや寮」をリニューアルし、S-dorm(エスドーム)と改称



みくりや寮(S-dorm)

平成26年2月 第一グラウンド人工芝竣工



第一グラウンド

平成26年3月 多目的屋内競技場竣工(旧体育館改築)



多目的屋内競技場

平成27年4月 教育課程にGET(グローバルアントレプレナートレーニング)コースを設置
大学院地域政策学研究科経営革新専攻特別教育研究コース(IRマネジメント)を設置

平成29年3月 新校舎ユニバーシティ・commons「リアクト」竣工



リアクト

平成29年4月 学修支援センター・リエゾンセンター・スポーツセンターを
総合交流センターに改組

平成30年4月 総合経営学部公共経営学科を改組し、公共学部公共学科を設置
共同参画研究所を設置



「大商大」と「故郷」で 結ばれる心強さを 継承していこう

2012年に設立された福井県支部。現在427名が入会しており、年代・職業・居住地の域を越えて、支部の絆を強くしています。今回は昭和34年卒から平成29年卒まで幅広い年代の校友が集まり、支部の歩みや活動の課題、大商大への想いや思い出を話し合っていました。



若い“校友”に声をかけ、 支部活動を活発にしよう。

——20号を迎えた『校友』の支部探訪は福井県支部です。立ち上げの経緯ですとか、苦労されたことなどのお話をしてもらいたいと思います。

清水:支部立ち上げは2012年6月ですが、その4~5年前から、現在事務局長の小玉君から「支部をつくってほしい」という話がありました。私も大学卒業して、日本体育大学等の総会等を見聞きする度、羨ましい気持ちがありました。まだ現役教員でしたので踏ん切りがつかなくて、迷っていました。2011年3月の退職と同時に小玉君、川崎君、岸本君(同じ商業部会)とでつくることになり、発起人には、学生時代、奈良の畝傍御陵前で辛苦を共にしたサッカー部の後

輩、ウエイトリフティング部の先輩・後輩にお願いし、15名を立て1年かけて準備をし、6月に創立総会を開く事が出来ました。支部立ち上げについては、三上先生にも相談させてもらったかと思えます。**三上:**最初に動き始めたのは平成9年(1997年)頃だったのではないかと思います。7、8人ほどが集まる会のようなものを続けていたのですが、自然と休会になってしまいました。それから10年ほど経って、清水さんから声をかけてもらいました。

川崎:私は、清水さんとは14年間ほど同じ職場でした。福井県支部を立ち上げるような話が出て、我々も定年退職したら、いろいろな楽しみも必要だということで、支部を立ち上げようという気持ちが一致して、立ち上がったということを感じています。1年に1度でも、大

学の先輩方、後輩の人たちと話をする機会があるのは非常にいいなあと思っています。

岸本:私も教員をしております、高等学校教育研究会の商業部会で清水先生、川崎先生、小玉先生と交流がありました。それがご縁でこの支部をとということで立ち上げに加わりました。

木本:私は平成25年の4月に入学しました。清水先生が高校の恩師で、川崎先生も簿記の教科担当の先生として教わっていて、そうしたご縁で大商大に入学させてもらいました。

卒業してUターンで福井に戻ってきましたが、校友会があることは知りませんでした。清水先生から連絡があり、参加させてもらっていますが、いろんな世代の大先輩方がいらっやって、昔の大商大の話の聞けたり、いろんな人と繋がりができたりということは非常にいいことだと思います。こういう場にいろんな若者を誘っていただけらと思っていますので、声をかけてくださるとありがたいです。

川崎:学生時代の思い出が蘇ってくることもありますので、支部の活動をずっと長い間、これから先も続けていけたらいいなと思っています。若い人にも来てもらって、少しでも人数が多くなる、参加する人数が多くなるということを期待しています。

岸本:そうですね、若い卒業生がどんどん参加してくださり、中心になって活動すると福井県支部も盛んになるのかなと思います。

清水:役員若返り、世代交代の時期が来ているのではないかと考えています。8年間役員の変更もな



く、マンネリ化してきたこの辺で、活性化の為、役員を増やし、10年目の区切りの良い処で、新制福井県支部の出発になればと思います。(会員の皆様からの積極的な要望・構想など、又は、支部の為にひと肌脱ごうとする立候補・推薦者がおられましたら、事務局まで連絡をお願い致します。)

後輩たちへ—

自信とファイトを持とう。

——皆さん、学生時代にはどのような思い出がありますか。

三上:学生時代の思い出に残っているのは、4回生の初め頃に初代学長の谷岡登先生に「うちへ遊びに来い」と言われ、ご自宅まで車に乗せていただきました。奥様がおいしいピフテキを焼いてくださり、楽しく過ごした思い出があります。

福井へ戻って、高校商業科の教員として41年間勤めさせていただいて、今日あるのも大商大で教えていただいた賜物だと、本当にありがたいと感じています。大商大はどんどんと素晴らしい大学になっていき、教員になってからは教え子を何人も行かせました。

坂上:私は大阪万博のありました年に入学しました。その頃は、女性ばかりの少人数で、父からはよっぽどしっかり勉強しないと卒業できんぞと言われて、勉強に邁進しました。ものすごく勉強した甲斐があって、首席で卒業することができました。

三上:私が学生だった頃、当時の谷岡登学長は「世の中に間に合う人間をつくる」と、そう教えられました。そういう人間教育が起点になって、校友会ができたのもたいへんありがたいし、またそれが基本的な一本の線になって、卒業生が各方面で活躍していただいているのだと思います。

坂上:大学の門を入った所に、確か英語で「Homo sapiens(ホモサピエンス)」って書いてありました。活躍する人間とか理性的な人間という意味なんですね。それが頭に残っています。

三上:世に間に合う人間を養成するという基本方針が受け継がれているんじゃないかと思えます。校友会にも、これからどんどん若い人たちに入っていただいて、さらに素晴らしい、活気のある、全国に誇れる会をつくっていただけたらありがたいですね。

宇野:大商大というスポーツという印象も強いと思いますが、大商大は何もないところから立ち上がった学校です。指導者や器具、練習場所など、ないない尽くしの中でやってきました。ですから割と打たれ強いんです。体をはって競技をやり、体をはって結果を出すのが、大商大のスポーツの精神なんです。

三上:私は硬式野球部でね、今でもいい思い出があります。当時の監督は授業やゼミがあるなら行け、欠席するなど。感謝しています。

岸本:私は部活をせず、大商大専属学生寮で4年間過ごしました。3食風呂付で、学校まで5分ぐらい。毎年1年生が100人ほど入りますが、2年生になると、20人ぐらいしか残らなくて。私はそこで上下の関係を覚え、社会に出てからすぐ役に立ちました。それに、いろんな地方から来ていた学生とは今も交

流があります。**坂上:**三上さん、世代が下の方々に伝えたいことがあったら、言ってもらえると嬉しいです。

三上:「心」という字に釘を打つと、「必」という字になります。私は谷岡登学長に、心に釘を打っていただきました。世の中に役立つ人物になっていけよと。それで今現在があります。ですから若い方々には、何事にも自信を持ってほしいですね。大商大生として、正々堂々と前面に立って自分が引っ張っていくんだと、そういうファイトを持ってほしいと思います。



(収録:令和元年5月12日)
校友会本部出席者(聞き手):
宇野幸三副会長、竹内行弘常任理事

福井県支部出席者



支部長
清水 久通
(昭和48年卒)



顧問
三上 利明
(昭和34年卒)



幹事
坂上 泰子
(昭和49年卒)



副支部長
川崎 和章
(昭和50年卒)



会計
岸本 幸久
(昭和54年卒)



木本 涼太
(平成29年卒)



副会長
宇野 幸三



常任理事
竹内 行弘

校友会本部出席者

三重県支部

学生時代の思い出

三重県支部 荻田 哲郎(昭和49年卒)

私の好きな作家、黒川博行さんが『大阪ばかぼんど』という本で「東京人」の話題は、ニュース、スポーツ、音楽等スマートで洒落ている。対する『大阪人』はタイガースの体たらくに始まり、タレントの噂話、酒と料理の旨い店、パチンコ競馬の話…と難しい話はない。興が乗るにつれて自虐的な笑いに…そう言う私も入学以来『大阪人』に近い話の自覚していた。上六の百貨店でのバイト。パチンコ、麻雀に始まり、夕方から立ち飲み屋で先輩同級後輩と一献！と青春を謳歌。しかし、ちよっ

と変わったサークル活動もしていた。学校内ではなく、天満橋OMMビル、某会社の研究所の隅をお借りして「計画科学研究会」と云う立派な名刺を創り、新聞社から選挙前に世論調査を請負ったり、大阪、名古屋でレジャーに関する「大衆意識調査」を実施。今もある名古屋駅前の「レジャック」という娯楽ビルの建設に当たり、広告代理店より我々の調査データを活用したいと依頼され「売れた！」と、喜び勇んで渡した。報酬は当時のコーヒー10杯分にもならず(笑)。又、研究会のメンバーでオースト

リア旅行を計画。お金がないので「リヤカーを引いての横断をTV取材」という企画書を関西TVに持ち込んだ。企画は却下。その後、芸能人が私達の企画書と同じ内容でオーストラリアをリヤカーで縦断しているのを見て大笑い！良き友達に恵まれた楽しい思い出話である。



(右)昭和49年卒業式にて左から高瀬君、著者、西岡幸彦君らと

【支部連絡先】 〒518-0823 三重県伊賀市四十九町1704 西岡幸彦様方 TEL.0595-21-3556

北摂支部

大阪のてっぺん能勢

北摂支部 支部長 谷林 喜久治(昭和40年卒)

能勢には古くから親しまれてきた「能勢の浄瑠璃」があります。江戸時代後期、文化年間(1804~1817)から現在でも、約200名の語り手が存在しています。ここ能勢町がいかにか浄瑠璃に馴染み、親しんできた土地であったかを物語っています。竹本文太夫、竹本井筒太夫、竹本中美太夫派があり、互いに励ましつつあって伝統を継承してきましたが、新たに2001年に竹本東寿太夫派が誕生し四派で活躍されています。1993年に大阪府無形民俗文化財に指定。1999年には国の無形民俗文化財の選択を受けております。

能勢には1993年にオープンした「浄るりシアター」があります。特色ある事業を展開することを目的に建築されたと聞いております。中でも、伝統芸能である「能勢の浄瑠璃」を基本にした活動は地域全体を巻き込んだ活動として、町外からも注目を集めております。毎年6月を「浄るり月間」として町全体でこの催しを盛り上げております。今年も6月22日、23日の両日「浄るりシアター」を貸切って上演されます。演目は皆さまご存知の「仮名手本忠臣蔵」「日高川入相花王」「壺阪観音

霊験記」で各派の太夫が語り、聴衆の皆様は舞台上に食い入るように楽しんでおられるのが毎年の光景です。

この公演も近隣市町からも多くの方がお越しになり「大阪のてっぺん」もこの時期、文化と自然を求めて観光客が増加しております。

校友会の皆様、この素晴らしい能勢を是非一度訪ねてみてください。



【支部連絡先】 〒666-8501 川西市市役所議事事務局内 久保義孝様方 TEL.072-740-1111 FAX.072-740-1318

関東支部

新しい風

関東支部 支部長 春田 丈夫(平成9年卒)

大学創立70周年まことおめでとうございます。私自身、大学を卒業して22年、時代も新元号に変わる中で、世の中の人・物・お金の流れや文化が日々大きく変遷していくの生活を、事業活動の中で感じております。そんな大変な時代において、我々関東支部においても、従来のビジネスモデルではなく、新しいビジネスモデルを展開されている校友がおられますので紹介させていただきます。

〈平成20年 測之上 和良さん(エミウル株式会社代表取締役)〉
2018年3月に会社を設立。これまで培った経験と人脈を生かし、ビジネスマッチングサービスを開始されています。ビジネスマッチングサービスを展開されている会社は既に沢山ありますが、測之上さんの会社は「着手金・固定費不要」で企業の求める顧客の紹介をされています。そこが従来のビジネスモデルと違う大きなポイントです。また、測之上さんの経歴が大変ユニークで、大学卒業後、

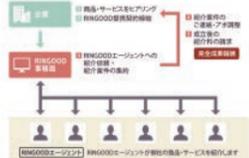
大手住宅設備メーカーを経験された後、なんと国会議員秘書へ、他ではできない経験と人脈形成にはこれ以上ない選択だと政治の世界に飛び込み、最終的には衆議院議員の公設第一秘書に就任、政権の激変期に政治の中核でかけがえのない経験をされました。

その後は外資系金融機関にてセールスを学んだ後、その経歴と人脈を活かして今のビジネスへと展開されています。そもそも起業を目指すきっかけとなったのは、大学時代に2年連続で出場した「大商大ビジネス・アイデアコンテスト」この時の挑戦することの大切さやアイデアを表現することの楽しさを知ったのが、今の起業への想いに繋がっていたとのこと。

そんなユニークな経歴と人脈をお持ちの測之上さんへ何かお困りごとあればお気軽にお問合せください。業界ジャンル関係なくご相談いただけます。実は私の関連会社でも活用させて頂いております。

【エミウル株式会社紹介】
完全成功報酬型顧客マッチングサービス「RINGOOD(リングッド)」を展開。着手金・固定費不要で企業の求める顧客の紹介を実現。経験・人脈豊富なエージェントによってBtoB BtoC問わず幅広い企業への顧客マッチングを実現している。
〒141-0032 東京都品川区大崎5-1-5 高徳ビル4F 03-6869-3962 <http://ringood.net/>

サービスイメージ



【支部連絡先】 〒141-0032 東京都品川区大崎5-1-5 高徳ビル4階エミウル株式会社内 測ノ上和良様方 TEL.03-6869-3962

さらなる交流の場が広がることを願って、全国各地で活動を行っている各支部からのお便りをご紹介します。

富山県支部

横田富山県支部長が行く！第6弾 (株)ヨネダ編 「心づくし 味づくし」をモットーに富山で生まれた食文化を全国に！

富山県支部 支部長 横田 安弘(昭和40年卒)、対談者/富山県支部 会員 米田 勉(平成3年卒)

横田安弘支部長(以下横田):こんにちは。今回は北陸の食文化、かぶら寿し製造販売を手掛ける(株)ヨネダ 米田 勉さんの会社を訪問させていただきました。早速ですが卒業年度と学生時代の思い出などを聞かせてください。

米田 勉会員(以下米田):こんにちは。私は平成3年度卒業生です。学生時代は友達の手で神戸などによくドライブに行ったことが懐かしい思い出です。

横田:それでは事業内容や米田さんの業務、今後の事業展開などを教えてください。

米田:ヨネダはもともと魚屋だった父がかぶら寿し製造をはじめたもので、私は二代目となる兄のもとで工場長として商品の製造・販売をしています。ヨネダのかぶら寿しは昨年、富山県知事より「富山県推奨とやま認定ブランド」をいただきました。「心づくし

味づくし」をモットーに富山で生まれた食文化を全国の方々にお知らせしたい！これが私たちの願いです。現在、北陸、関西地区をはじめ全国有名百貨店とお取引をさせて頂いています。

横田:後輩たちに何かメッセージをいただけますか。

米田:先輩諸君は計らずも令和の新時代の卒業生として社会人となります。自分の興味のあることは何でもチャレンジし、いろんな経験の中から真に自分のやりたいことを見つけていってほしいと思っています。横田:米田さんは、北陸の食文化を担う業界の若手リーダーとしても益々活躍が期待されています。今日は貴重なお話をありがとうございました。



店舗兼工場前 米田工場長(左)と横田支部長 地元の材料を厳選して作るかぶら寿し 「断の山椒ふりかけ」三個詰め合わせセット

読者プレゼント！！

(株)ヨネダ様より「断の山椒ふりかけ」を先着2名様様にプレゼントいただきました。ご希望の方は、富山県支部 事務局 藤井泰三までご連絡ください。【携帯電話】090-3763-0587 【E-Mail】taizo@taizo.co.jp

【支部連絡先】 〒939-2649 富山県富山市婦中町余川116 (株)藤井産業内 藤井泰三様方 TEL.076-469-3007 FAX.076-469-3536

京都府支部

大商大で学んだことの多くが社会から認められたこと

京都支部 専務理事 太田 嘉樹(平成8年卒)

大阪商業大学創立70周年、誠におめでとうございます。

私は平成31年度校友会京都支部専務理事を拝命しました太田と申します。今から28年前、私は大学1回生の時、「御厨寮」で生活しておりました。4階建ての集合住宅、各室二段ベッドの4人部屋でございました。総勢100名程の男子寮の生活は想像を遥かに超えて、私はあの過酷で不自由な寮生活のおかげで強い精神力を身に付けることが出来ました。また、私は体育会ゴルフ部に所属し、平日はグラウンドで練習をして、週末はキャディーのバイトに

明け暮れました。ゴルフの上達により、社会に出てからとても役に立ちました。特に接待ゴルフでは大活躍です。私が体育会ゴルフ部で学んだことの中で一番大切にしていることは、「1回生は体を使え、2回生は気を使え、3回生は頭を使え、4回生は金を使え」です。これは4年間のクラブ活動を企業の組織の置き換えたものなのです。1回生=新入社員、2回生=係長・主任、3回生=次長・課長、4回生=取締役・部長なのです。私はこの体育会ゴルフ部の組織論が社会で最も必要とされる心構えと考えます。大商大は一流大学ではない、偏差

値も高くはない、第一志望で入学したい大学でもない。でも、大商大で学んだ事の多くが社会から必要とされ、社会から認められたことのように思います。大商大は素晴らしい大学と私は思います。これからの益々の発展を心よりご祈念申し上げます。



【支部連絡先】 〒617-0836 長岡京市勝竜寺尻細13-17 藤原泰宏様方 携帯090-3894-5222

石川県支部

これからの石川県支部

石川県支部 支部長 池田 典明(昭和48年卒)

大学創立70周年おめでとうございます。戦後まもなく大学が創立しとお聞きしてしています。

混乱の中での創立は大変な苦勞があったのではないかと想像致します。

大阪商業大学石川支部校友会は廣澤支部長の下10周年を迎えその後、池田支部長に禪が渡されました。早いもので3年半の月日が過ぎようとしています。

それと同時に4年前北陸新幹線が開通いたしました。開通と同時に金沢を中心に能登・加賀へと全国から石川県の魅力に観光も兼ねて多くのお客様が訪れています。国内は勿論のこと外

国(世界のあらゆる地域)の観光客も来県しています。

校友会石川支部は今若返りを考えています。ところが30代~50代メンバーは今が働き盛りでほとんどの人が時間的余裕がなくまた石川県は南北に長い県交通アクセスが良くなったとはいえ能登のメンバーが金沢に出てくるまで3時間を要します。

皆でこの問題を解決すべく苦慮しているところです。

ところで私事です卒業年度が昭和48年卒業ですから今から45年前になりますが、入学したその年に大阪万博が開催され、御厨寮の先輩・同

級生と何度も見に行った記憶があります。各バピリオンでの今までに見たことのない事柄がおぼろげながら脳裏に浮かんできます。そして2025年に大阪万博が開催されるとのことです(半世紀)の時を通過しての開催です。その時は又見に行こうと思います。

最後になりますが、これからの大阪商業大学・校友会が益々大きく羽ばたき発展していくことを校友会石川支部は切にお祈りいたします。



【支部連絡先】 〒920-1165 金沢市若松町ツ116 中村直彦様方 TEL.076-264-8903 携帯.090-6818-7220

岡山県支部

小規模事業者支援で学んだ、つながりの大切さ

岡山県支部 会計 竹並 義人(昭和57年卒)

平成24年から岡山県支部に参加して、会計を担当させていただいています。私は、地元商工会に勤務して34年、商工会は全国に1,660箇所に設置され、小規模事業者の「税務、労働、金融」の他に経営革新や創業等の計画策定、各種補助金申請などの経営支援や地域振興事業を行っています。

全事業者の約85%である小規模事業者が抱える問題として、「事業承継」、「生産性向上」などがありますが、小規模事業者の地域経済への貢献度は郡部にいくほど高く、地域のリーダー的な役割や地域コミュニ

ティの中核機能も担っており、地域を支えているのは小規模事業者と言えます。

このような中、商工会が「支援」を行うためには、専門的な知識や情報提供だけでなく、「支援をするひと」の存在を知ってもらうのと共に、相手とのコミュニケーションから「つながり」を築くことが重要だと感じています。

校友会活動についても、卒業生同士のコミュニケーションから「つながり」を強固にし、母校を応援していきたいと考えています。



【支部連絡先】 〒703-8267 岡山市中区山崎301-58 永田嘉男様方 TEL.086-276-9054

滋賀県支部

38年ぶりに母校を訪ねて

滋賀県支部 支部長 山中 多美子(昭和56年卒)

私は昨年末より急遽支部長をさせていただくことになり、そこで卒業以来初めて母校に伺う機会がありました。38年ぶりですので当時の面影はほとんど見つけることができませんでしたが、青春時代の楽しい思い出がよみがえりました。当時は女性の学生が非常に少なく、速記研究会というサークルに入っていた私は、毎日男性ばかりの中に混じって過ごしていました。合宿旅行、御厨祭での仮装行列、学園祭での

たて焼き屋、喫茶店でのインベーダーゲーム、飲み会等々、本当に懐かしく楽しい思い出ばかりです。これからはまた機会を見つけて伺い、青春時代にタイムスリップしたいと思います。

ところで、今滋賀県支部の会員は千人を超えています。地域の範囲も広いので地域単位での活動もしていきたいと思っています。去る5月22日には甲賀湖南地区の有志8名で親睦会をしました。今後はもっと若い世代の方々にも

参加して頂けるような魅力のある支部活動を目指してまいりますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



【支部連絡先】 〒520-3222 滋賀県湖南市吉永63 山中多美子様方 携帯.090-9254-1200

愛知支部

愛知支部の歩み

愛知支部 事務局担当 杜下 憲央(平成2年卒)

12年目の活動に入った私たち愛知支部の歴史は、初代支部長の川村喜久明氏(故人 昭和33年卒)が、愛知県内に在住・在職する母校の卒業生たちが、世代を超えて交流を図り、親睦を深めることが出来ないかと考え、校友会本部に相談したのが始まりでした。平成19年7月に川村氏が校友会名簿に登録されていた愛知県内約220名の校友に電話にて支部発足の協力を呼びかけ、6名の有志で世話人会を構成し、支部設立に向けた準備を行いました。その努力が実り、平成20年4月20日(日)、ローズコートホテル(名古屋市中区)にて「大阪商

業大学校友会愛知支部設立総会」を開催し、産声を上げました。当支部名は、他県の支部とは異なり、将来は近隣の岐阜、静岡の両県にも活動の輪を広げていきたいとの思いを込め、あえて「県」を外しました。産みの苦しみと育ての苦勞、総会・懇親会、及び役員会の開催や母校の行事参加など、支部活動に取り組みながら参加者を増やしていこうと試行錯誤を続けました。

平成25年度総会にて、石原孝行氏(昭和47年卒)が支部長を引き継ぎ、役員旅行の実施や三重県支部とのゴルフコンペをはじめ他

県の支部との交流を拡げるなど尽力いただきました。

現在は、バスケットボール部OBの光田秀信氏(昭和52年卒)が3代目の支部長として、3名の副支部長、及び各役員とともに若い世代の参加者が増えることを期待しつつ、支部活動の継続と発展に向けて歩み続けています。



【支部連絡先】 〒474-8651 愛知県大府市横根町名高山55 至学館大学・同短期大学部 総務課 杜下憲央様 TEL.0562-46-1291 FAX.0562-44-1313

愛媛県支部

校友会に参加して

愛媛支部 常任幹事(青年部副部長) 岡田 新一郎(平成22年卒)

大阪商業大学を卒業して、5、6年経った頃に1学年上の先輩に誘われて参加しました。誘われた当初はどんなことをするのか分からず、知らないばかりで固い苦しいイメージがありました。参加すると先輩方は親切で、とてもウェルカムな雰囲気でした。覚えています。

年に一回、大学対抗のソフトボール大会にも参加させて頂いていますが、先輩後輩関係なく楽しい雰囲気です。卒業すると、なかなか卒業生が集まることも少ないですが、大阪の大学ですが、愛媛県人で集まることにすごく親近感がわきます。

また、商業の大学ということで先輩方は経営を

されている方も多くいます。私は仕事で営業をしているので、この校友会でいろんな情報を交換したり勉強させてもらったりしています。この校友会に参加しているからこそ普段は聞けないような話とか、先輩にだからこそできる相談もあります。

今、愛媛県支部には若い校友会メンバーも多く参加しています。また女性のメンバーもいます。これから先、愛媛県支部を支えていくには、一人でも

多く若いメンバーを増やし、気さくに楽しく運営していくことに尽きると思います。そして参加した若いメンバーに、少しでも多くの学びや楽しみを共有できるような雰囲気できるように運営していきます。

まだ校友会に参加していない方や、校友会の存在を知らなかった方は是非一度参加して見てください！



【支部連絡先】 〒793-0030 愛媛県西条市大町1215-1 工藤憲治様方 TEL.0897-56-1572

兵庫御厨会

果敢に挑戦

兵庫県立長田商業高等学校 教頭 中塚 正裕(昭和61年卒)

私が今春まで勤務していた兵庫県立神戸商業高等学校は、神戸の貿易の発展と人材の育成のために明治11年に設置された神戸商業講習所を前身とし、140年余りの歴史を有する日本最古の商業高校で、ビジネス界で活躍できる人材の輩出を目指しています。そのような中、平成28年度から3年間、文部科学省の「スーパープロフェッショナルハイスクール」の研究指定を受け、『地元産業界の期待を担う人材「貿易人KOB E」～世界を相手にたくましく生きるグローバル人材の育成～』をテーマに

チャレンジを進め、この事業に今春卒業した生徒たちが1年次から様々な事柄に取り組みました。私はその学年団の主任として、また、商業科の教師として、たくさんの仲間や産業界の方々との支援・協力を得ながら、中心となって研究を推進してきました。振り返ってみると、今まで33年間の教師生活で未経験のジャンルの連続でしたが、「バンコク日本博2018」における販売実習への生徒の参加や海外展開を視野に入れた商品開発を初め多くの事業を通して、教師として前進し続けることの大切さ

と、生徒が失敗を恐れず挑戦し続けるよう指導することの大切さを痛感しました。

4月からは今までとは異なる立場で生徒や職員に接することになりました。これからも様々な新しい事柄に出会うことで、今回の貴重な体験を糧とし、どのような苦難にも前を向いて果敢に挑戦を続けていく所存です。



【支部連絡先】 〒659-0042 兵庫県芦屋市緑町1-1-502号「兵庫御厨会」事務局 宿南敏行 TEL・FAX.0797-75-6609 携帯.090-2709-7334

沖縄県支部

沖縄について

沖縄県支部 上原 勝(平成14年卒)

ぐすーよー・ちゅーうがなびら「こんにちは！皆さんで機嫌いかがですか？」約20年前に御厨キャンパスライフを謳歌していましたわたしは、地元に戻り、家業を継ぎながら市議会議員活動に動いている毎日です。思い起こすと新聞奨学金制度を活用しながらの学生生活でした。これもひとえに大阪商業大学建学の理念である4つの柱一、思いやりと礼節 二、基礎的実学 三、柔軟な思考力 四、楽しい生き方に共感し勉学に励んでくれたからだと大商大に対して感謝の念に堪えません。微力ながらではありますが、母校発展に貢献できたという思いで書かせていただいています。さてテーマは沖縄についてであります。皆さんが抱く沖縄のイメージはどのようなものでしょうか？青い・

透き通る海・スロータイム・観光地・年中夏服・泡盛・オリオンビール・沖縄そば・修学旅行・戦争終焉地・ひめゆりの塔・基地問題...といったところでしょうか。どれも正解です。実際沖縄に足を運んでみるとそれぞれの正解がでると感じます。沖縄県の人口統計や法務省の在留外国人統計からみると大きな要因の一つとして「住みやすさ」が挙げられることからここ近年県外移住者や外国人移住者も増加しています。沖縄県の景気状況としても、観光産業が牽引し、緩やかな景気の回復に期待がもてる状況が見え始めています。厚生労働省・沖縄労働局の発表によると平成31年3月新規大卒者の就職内定率68.3%は、前年同期比0.2ポイントを上昇し過去最高値を更新しています。そして観光立

県を宣言している沖縄県は2020年3月末共用開始に向けて那覇空港第2滑走路を増設中です。このインフラ整備事業は、国際物流の拠点としてまた県外・国外からの観光客の大きな起爆剤になることは間違いないとも言われています。ただ沖縄県としても地理的優位性を生かして国際競争に打ち勝つための人材育成・人材確保は急務な課題です。幸いなことに我が大商大からも多くの人材が輩出されてきました。諸先輩方の功績は大きいと言えます。

さあ～後輩諸君よ！道は開かれた！！後に続け！！



【支部連絡先】 〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖3-3-1 前島明男様方 TEL.098-877-1886 FAX.098-877-1886

高知県支部

志士の気概を継承する校友会支部として

高知県支部 支部長 山崎 吉年(昭和41年卒)

今を去る150年の昔、土佐の山野を駆け抜けた土佐勤王党の草莽の志士達が眠るここ大土佐に開の声をあげて13年目を迎えます。我が校友会は先輩諸氏のご尽力により創立以来その活動は脈々と受け継がれています。

県出身者は卒業名簿にも300名を超す記載があり、国の内外は云うに及ばずその力量を発揮、活躍しています。

小阪の街で4年間の執行猶予?の後、帰郷・高知在住しているOB達は高知市内を中心に東は東洋町、西は足摺岬、宿毛

市に至る広範囲にわたっています。

会員の充足率はOBを分母として比較すると約10%であり、母校愛に基づく諸兄の御理解の賜物であると感謝しています。

1月の新年会では久しぶりの再会を祝して各自の年頭の所感を述べ、新人会員の紹介にては今後の親睦をはかりつつ会員増の為の勧誘にも努めています。

6月開催の定期総会、親睦イベント等、私共の大切な任務である会報の発行は部員の積極的な協力を得て情報交換

に繋がるように連絡網の深化にも努めています。

また、総会の際には本部より役員の出席を戴き大学よりは教職員の方々のご出席も戴き物心の両面にわたる暖かいご支援、ご指導を賜っていることに厚く感謝申し上げます。

校友会が皆様に役立つ機構であり、組織たらんとするの理念のもとこれからも心を繋ぎ合わせ校友会の在り方を追求していく所存です。

【支部連絡先】 〒781-8104 高知県高知市高須1-18-3 岩井貞雄様方 TEL.088-882-1000 FAX.088-863-3027

広島県支部

広陵高校野球部「中井哲之」監督を訪ねて

広島県支部 支部長 渡辺 高守(昭和49年卒)

広島県支部は今年で、設立10周年を迎えます。10年の節目の年にあたり、平成最後の選抜出場が決まった2月末に、高校野球の強豪校である広陵高校の「中井哲之」監督を訪ねました。中井監督は、広陵時代には、内野手として、甲子園出場、そして大商大野球部を経て、昭和61年に母校である広陵高校に赴任し、平成2年4月に27歳で監督就任、平成3年の選抜で優勝、さらに平成15年の選抜で2度目の優勝、多くの子供達を甲子園へと導き、多くの教え子がプロ野球選手として活躍されています。

す。広島県支部の活動方針には、県内で活躍するプロアススポーツの選手、指導者を支援していくとの一項目があり、広島カープで活躍している「岡田明文」選手、名将中井監督が、校友であることを誇りに思います。中井監督との対談は、終始笑顔で接していただき、人当たりのいい、誠実さを感じ、大変心地よいひと時でした。中井監督の著書の中に、「一人一役全員主役」という言葉があります。子供達、一人ひとりを大切にするという、教育者としての中井監督を慕って、全国から野球少

年が広陵高校に、入学してくるのが理解できました。最後に、中井監督から、今年で、設立10年を迎えた広島県支部の益々の発展を祈念するとの熱きメッセージを頂きました。カープファンとしては、地元の野球少年が、広陵高校、大商大野球部、そして、広島カープに入団し、活躍する姿を、夢見つつ広陵高校をあとにしました。



【支部連絡先】 〒739-2101 広島県東広島市高屋町造賀5799-1 渡辺高守様方 TEL.082-436-0295

～日本学生支援機構奨学金を利用していた卒業生のみなさまへ～

返還猶予制度のご案内

母校在学中に日本学生支援機構奨学金を利用していた卒業生のみなさまにおかれましては、現在返還中の方、すでに完済された方さまざまいらっしゃるかと存じます。

現在、奨学金を返還中のみなさまは、返還継続が困難な状況に陥った場合、所定の手続きを行うことで返還が猶予できる制度や、1回あたりの返還額を減額できる制度があることをご存知でしょうか？

所定の手続きを経て、返還猶予が適用されますと、延滞金が課されたり、法的措置が取られたりすることはありません。もし、現在、奨学金の返還継続が困難な状況下におかれているにも関わらず、返還が滞ったままになっている方がおられましたら、ぜひ、返還猶予の手続きについて日本学生支援機構へご相談くださるようご案内申し上げます。

問合せ先 奨学金返還相談センター ナビダイヤル
TEL.0570-666-301(8:30～20:00) 一部携帯電話・IP電話等から 03-6743-6100

日本学生支援機構ホームページ <https://www.jasso.go.jp/> (※手続きに必要な用紙のダウンロードもできます。)

大阪商業大学 開学70周年記念事業について

平成が終了し、令和元年が始まる節目の年に大阪商業大学は開学70周年を迎えました。そこで、10月の大学祭に併せて記念事業を行います。

記念事業の推進にあたっては、開学70周年を振り返りつつも、この先10年を見据えた「これが大商大のアイデンティティ」を発信したいと考えます。

記念事業のコンセプトを以下のように定め、在学生や卒業生、大学関係者が校友として集う機会での喜びを分かち合いたいと思います。



未来への展望を拓く
～ひとりひとりの「先」を見据えて～
「新たな学びを創造し続けて70年
そして80年に向けてThis is DAISHODAI」

記念事業スケジュール

- | | |
|-----------|--|
| 10/26 (土) | 13:00～14:30 開学70周年記念式典<蒼天ホール> |
| | 15:30～19:30 全国教育職員の集い・懇親会<蒼天ホール・S-terrace> |
| 10/27 (日) | 10:00～12:00 ホームカミングデイ・校友顕彰式典<411・412教室> |
| | 12:30～14:00 ウェルカムランチパーティー<S-terrace> |

※ホームカミングデイの案内を同封しております

大阪商業大学×大阪歴史博物館

大阪商業大学 開学70周年記念

特集展示「博学連携展 商都大阪の文化力」

会期／令和元年8月21日(水)～10月14日(月・祝) ※火曜日休館

大阪歴史博物館と連携し、企画展を開催します

大阪商業大学開学70周年を記念し、大阪商業大学と大阪歴史博物館がタッグを組み、「博学連携展 商都大阪の文化力」を開催します。江戸時代「商都」と呼ばれた大阪の繁栄を支えた「蔵屋敷」は重要な文化交流の場でもありました。蔵屋敷を中心に繰り広げられた人・もの・地域の連携と展開について、大阪商業大学商業史博物館とアミューズメント産業研究所および大阪歴史博物館の所蔵品を通じて紹介し、商都大阪の文化の本質に迫ります。

主催 大阪歴史博物館、大阪商業大学
協力 かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会
開館時間 午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで
会場 大阪歴史博物館 8階 特集展示室(常設展示場内)
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32

TEL.06-6946-5728 FAX.06-6946-2662 <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>
(最寄駅) 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②号・⑨号出口シティバス「馬場町」バス停前

●観覧料／常設展示観覧料でご覧になれます。大人 600円(540円)、高校生・大学生400円(360円)
※()内は20名以上の団体割引料金※中学生以下・大阪市内在住の65歳以上(要証明証提示)の方、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

●主な展示資料／
広島藩大坂御屋敷図 慶応2年(1866) 大阪商業大学 商業史博物館蔵
岡田米山人(おかだべいさんじん) 携琴訪友図(けいしんほうゆうず) 江戸時代 大阪歴史博物館蔵
拳会角力図会(けんざらえすまいずえ) 義浪吾雀(よしなみごじゃく)著 文化6年(1809) 大阪商業大学 アミューズメント産業研究所蔵
北野恒富(きたのつねとみ) 井原西鶴像 昭和時代 大阪商業大学 商業史博物館蔵 他約50点



「校友 第20号」の封筒ご持参の方は、無料で観覧いただけます。
(常設展示のみ・封筒1通につきお1人様1回限り)

平成30年度卒業生の就職状況

日本国内の生産年齢人口は減少が続いているものの、定年退職に伴う人材補充の必要性の高まりや、近年の景況感も相まって、企業の新卒採用に対する意欲は、非常に高い状態が続いています。そのような中、昨今の就職・雇用状況につきましては、平成30年度卒業の大卒求人倍率は1.88倍、令和元年度は1.83倍と高水準を維持し、リーマンショックで求人倍率が大幅に低下した年度以降で2番目の高さとなりました。

企業の広報活動は卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、選考活動については、卒業・修了年度の6月1日以降という3年連続同様のスケジュールでスタートしましたが、企業側の短期採用活動に付き合う格好となり、学生側も十分な準備ができない状況で進路を決断しなくてはならないようになってきています。このような状況から令和元年度も業界・規模・地域別で企業の広報採用選考時期に注視し、本学就職支援プログラムのスケジュールについても臨機応変に対応していかなければならないと考えています。

こうした環境の中、建学の理念である「世に役立つ人物の養成」を具現化した4本の柱の一つ「楽しい生き方」の実現に向けて、学生が本当に自分に合った就職先に出会えるよう一人ひとりに対し、親身になって対応していきます。また、キャリアサポート室(以下当室)では、本学の特色でもある「就職に強い大学」を維持するために、より一層充実した就職支援体制の確立を目指し、最初に「自己理解」に多くの時間をかけます。「なにがしたいのか、やれるのか」を考え、その次に「業界・企業・職種の研究」に励み選択肢の幅を広げ、自身の強みが実社会で活かせる場所はどこなのか?に気づくことを重点に指導を行っています。

内定獲得に向けての施策は、合同企業セミナーを中心に企業と学生の出会いを様々なコンセプトで学内にお

卒業生数(前年)	就職内定率(前年)	進路内定率(前年)
959名(913名)	97.6%(95.1%)	97.0%(95.0%)

いて開催しています。Uターン就職支援では、現在の就職支援協定県(愛媛・香川・高知・岡山・和歌山・鳥取)との連携強化に加え、在学生が多い県との新たな就職支援協定を締結すべく働きかけを行ってまいります。

今の学生動向については売り手市場のため有名一流企業へのエントリー、いわゆる「ブランド志向」になりがちです。自身の強みを活かして自分のやれること、やりたいことができる企業を選択しない、いわゆる就社活動は早期離職につながる可能性が高いと言われています。要因の一つに保護者の過度な関与が考えられ、四年制大学を卒業するのだから一流企業に入社してほしい親の強い思いが影響しています。もともと日本の産業構造上、製造業を中心とした“モノづくり日本”、99%が中堅中小企業のため、当室では、学生はもちろん保護者の方に対しても「中堅中小企業の魅力」を伝え、理解してもらえるように様々なプログラムを展開しています。

当室では、このような学内外での様々な就職支援事業を展開していきます。そのためには校友会との更なる連携が必要不可欠です。早期離職者を抑制し、一人ひとりの学生の「楽しい生き方」が実現するよう指導していきます。今後ともご支援賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

出身県別2020年3月 卒業予定者数							
北海道	0	東京都	2	滋賀県	20	香川県	16
青森県	0	神奈川県	0	京都府	35	愛媛県	20
岩手県	0	新潟県	1	大阪府	571	高知県	14
宮城県	1	富山県	4	兵庫県	96	福岡県	3
秋田県	0	石川県	1	奈良県	101	佐賀県	0
山形県	0	福井県	9	和歌山県	76	長崎県	2
福島県	0	山梨県	0	鳥取県	10	熊本県	0
茨城県	3	長野県	0	島根県	6	大分県	1
栃木県	0	岐阜県	3	岡山県	22	宮崎県	0
群馬県	0	静岡県	2	広島県	12	鹿児島県	2
埼玉県	0	愛知県	7	山口県	1	沖縄県	5
千葉県	2	三重県	16	徳島県	7	外国	1



大商大SNS公式アカウント
「<http://ouc.daishodai.ac.jp/sns/>」

大学情報を日々発信しています!

広報入試課が運営する各種SNS公式アカウントでは、大学の様々な活動やイベント、学生の活躍の様子などを、動画や画像などと共に発信しています。SNSに登録していない場合でも、大学公式WEBサイトから発信内容を見ることも可能です。ぜひ一度ご覧ください。



2019年度春季 主なクラブ大会成績

(6月1日現在)

<硬式野球部>

関西六大学野球春季リーグ戦
・優勝(2季ぶり18回目(旧リーグを含む))
第68回全日本大学野球選手権大会出場権獲得(3年連続10回目)
・最優秀選手賞 小野寺暖さん(商4年)
・最優秀投手賞 大西広樹さん(公共経営4年)
・首位打者 小野寺暖さん(商4年)
・ベストナイン(捕手) 岡澤智基さん(商3年)
・ベストナイン(三塁手) 湯口郁実さん(公共経営3年)
・ベストナイン(外野手) 植田匡哉さん(経済4年)
・ベストナイン(外野手) 笹治健汰さん(経営4年)
・ベストナイン(外野手) 小野寺暖さん(商4年)
・平古場賞(新人賞) 花村凌さん(公共2年)
・平古場賞(新人賞) 福元悠真さん(商2年)
・担当記者クラブ賞 大西広樹さん(公共経営4年)
・特別賞 大学通算20勝達成 大西広樹さん(公共経営4年)

<ウエイトリフティング部>

第35回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会
・55kg級 優勝 東野凌大さん(公共経営4年)
・81kg級 優勝 一瀬駿さん(経済4年)
・89kg級 準優勝 吉川啓啓さん(公共2年)
・最優秀選手賞 東野凌大さん(公共経営4年)
第65回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会
・55kg級 優勝 東野凌大さん(公共経営4年)
・73kg級 3位 一瀬駿さん(経済4年)
・最優秀選手賞 東野凌大さん(公共経営4年)

<空手道部>

第53回関西学生空手道個人選手権大会
・男子組手競技-67kg級 3位 山下大幹さん(経済4年)
・男子組手競技-60kg級 3回戦敗退 小川凌雅さん(公共2年)
・男子組手競技-67kg級 3回戦敗退 京極立さん(経済1年)
・男子組手競技-75kg級 3回戦敗退 富永翔真さん(商1年)
・女子組手競技-50kg級 2回戦敗退 新山美紗都さん(公共2年)
・女子組手競技-50kg級 1回戦敗退 土岡亜緒衣さん(商1年)
第57回西日本大学空手道選手権大会
・男子団体組手 ベスト16

<剣道部>

第58回大阪学生剣道選手権大会
・2回戦敗退 船橋諒さん(経営2年)
第67回関西学生剣道選手権大会
・3回戦敗退 長谷川宗太さん(経済2年)

<硬式庭球部>

関西学生春季テニス選手権大会予選会
・男子ダブルス
2回戦敗退 井上湧太さん(経営4年)・川岸真也さん(経済3年)
2回戦敗退 大野翔希さん(経営3年)・伊豆嶋拓さん(公共経営3年)
2回戦敗退 山本勝一郎さん(経済4年)・坂口希樹さん(経営2年)

<柔道部>

第69回関西学生柔道優勝大会
・男子団体1部 Bトーナメント ベスト8

<硬式野球部>

阪神六大学準硬式野球連盟春季リーグ戦
・準優勝
・ベストナイン(一塁手) 北坂祐磨さん(経済4年)
・ベストナイン(外野手) 松山豪太さん(公共2年)
・ベストナイン(指名打者) 竹田稔冬さん(商2年)

<水上競技部>

第7回関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会
・男子50m自由形 予選76位 岩本凌一さん(経済4年)
・男子100m背泳ぎ 予選55位 小島慎也さん(公共1年)
・男子100m平泳ぎ 予選56位 岩本凌一さん(経済4年)

<水上競技部>

第7回関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会
・男子50m自由形 予選76位 岩本凌一さん(経済4年)
・男子100m背泳ぎ 予選55位 小島慎也さん(公共1年)
・男子100m平泳ぎ 予選56位 岩本凌一さん(経済4年)

<ソフトテニス部>

関西学生ソフトテニスシングルス選手権大会
・男子の部
5回戦敗退 山田晃市さん(経済3年)
関西学生ソフトテニス春季リーグ戦
・男子2部 優勝(1・2部入替戦敗退)
関西学生ソフトテニス選手権大会
兼第74回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会予選会
・男子の部
5回戦敗退 水谷幸一さん(公共2年)・山田晃市さん(経済3年)

<卓球部>

第61回関西学生卓球新人大会
・男子団体
3回戦敗退 大阪商業大学Bチーム
・男子シングルス
4回戦敗退 大迫辰弥さん(経済1年)
関西学生卓球春季リーグ戦
・男子3部Bリーグ 3位

<日本拳法部>

第23回西日本学生拳法選手権大会

・男子団体1部 予選リーグ敗退

<バスケットボール部>

第46回関西学生バスケットボール選手権大会

・ベスト16

<バレーボール部>

関西大学バレーボール連盟男子春季リーグ戦

・1部 11位

<ボクシング部>

大阪府民体育大会兼第74回国民体育大会大阪府選考会
・成年男子バンタム級 優勝 池側純さん(公共経営4年)
・成年男子ライトフライ級 準優勝 藤田龍馬さん(公共2年)
・成年男子フライ級 準優勝 福田陸人さん(商3年)
・成年男子バンタム級 準優勝 石川竜成さん(公共2年)
・成年男子ライト級 準優勝 山原武人さん(公共2年)

<ライフル射撃部>

第66回春季全関西学生ライフル射撃選手権大会

・10mS60MW 23位 廣橋詩音さん(経営2年)

71位 林杏剛さん(経営3年)

<陸上競技部>

第96回関西学生陸上競技対校選手権大会

(トラック&フィールドの部)

・男子2部200m 予選3位 鷲見元輝さん(経済3年)

～第68回御厨祭実行委員より 大学祭のご案内～ 開催期間 10月26日(土)～27日(日)

校友のご来場をお待ちしております!!

初めまして。第68回御厨祭実行委員長の明田良樹です。昨年の御厨祭は天候にも恵まれたうえ、実行委員や教職員の方々の協力もあり、誰一人怪我をすることなく御厨祭を終了することができました。

さて、今年も学生会本部、文化会本部、体育会本部、応援団、放送局の5団体が協力し、御厨祭の準備に取り組んでいきます。

今年も昨年と同じく2日間の開催となりますが、昨年までの先輩方の姿勢や経験、知識などを活かし、御厨祭当日を迎えたいと思います。

そして、今年の御厨祭のテーマは『Origin』となりました。御厨祭にご来場された方々には子ども心に戻って楽しんで頂ける御厨祭にしたいと思い、このテーマに決定しました。また、実行委員会一同では初心に帰り精進していけるようにという意味も込めて、このテーマとさせていただきます。

御厨祭は2日間の開催となりますが他大学にはない、大阪商業大学ならではの大学祭を作り上げていきたいと思っています。今年も2日間全力で来場者の方々を盛り上げ、実行委員会や教職員、ご来場の方々一同で大学祭を作り上げたいと思っています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



母校へGO!

お問い合わせは〈大学祭実行委員会〉まで Tel: 06-6781-8367

「ご利用割引制度」について 校友会からのお知らせ …… U・コミュニティホテル宿泊 30%OFF割引制度

大学行事参加等によりU・コミュニティホテルをご利用される場合「**谷岡学園特別優待補助券**」お持ちの方に**30%の割引制度**があります。

ご利用の際には校友会本部(06-6782-7243)までお申し出下さい。補助券を送付いたします。 ※ご宿泊利用のみとさせていただきます。

校友会本部便り

平成31年

- 4月 2日:大阪商業大学 入学式出席
- 20日:平成31年度 第1回常任理事会

令和元年

- 5月 17日:兵庫御厨会全体会開催
- 26日:広島県支部総会開催
- 6月 1日:高知県支部総会開催
- 8日:平成31年度・令和元年度 第2回常任理事会 第1回理事会開催
- 16日:愛媛県支部総会開催
- 22日:福井県支部総会開催
- 7月 13日:関東支部総会開催
- 8月 校友会会報「校友」第20号発刊
- 13日~15日:校友会本部夏季休業
- 9月 19日:大阪商業大学 前期学位記授与式出席
- 10月 26日・27日:開学70周年記念行事 全国教職員の集い ホームカミングデイ ・校友顕彰式典 ・ウエルカムランチパーティー 大学祭(第68回)御厨祭 校友会出店(各支部の名産品販売) :石川県支部総会開催予定
- 11月 17日:岡山県支部総会開催予定

校友会本部事務局は毎月~金曜日 9時~17時開館し、篠山専務理事並びに前田事務員が常駐しています。卒業生も現学生もお気軽にお立ち寄り下さい。(土日祝及びお盆・年末年始休み)

令和2年

- 2月 学生代表との懇談会予定
- 3月 京都府支部総会開催予定 滋賀県支部総会開催予定
- 25日:大阪商業大学 学位記授与式出席予定 愛知支部総会開催予定

平成31年 4月~ 令和2年 3月 校友会館の宿泊等の貸出し

※予定日は変更になることもございます

平成30年度 校友会主な事業



学生期間限定メニュー(継続)

校友会が1食300円の補助を行い学生には1食200円で提供



福井県支部ボルガライス 富山県支部ブラックラーメン

小城利重氏に校友顕彰

昨年12月4日、大阪商業大学「平成30年度校友顕彰」受賞者として、校友会常任理事の小城利重氏(昭和46年3月卒業)が表彰されました。

校友顕彰は、優れた社会的貢献を果たし、各界で活躍する卒業生の功績を讃えることを目的に、平成6年度から実施されているものです。(写真上)

小城氏は、奈良県斑鳩町長として8期にわたり行政手腕を発揮されました。また校友会では平成19年より常任理事に就任され、現学生への「食育活動」の一環とした学食補助を、支援基金検討委員の一員として提言されました。当日は、「まちづくり」をテーマに、世界文化遺産・法隆寺などを有するまちの魅力などを熱く語られました。

新副会長に小城氏

去る4月20日開催の常任理事会において、一身上の都合により辞意を表明された谷口権佳副会長に代わり、小城利重氏(常任理事)が6月8日、理事会において副会長に新たに選任されました。

小城氏は昭和46年卒業。奈良県斑鳩町長を8期務められ、平成19年より校友会常任理事に就いています。小城新副会長は、就任に当たり「重責に身が引き締まる思い」と決意を述べられました。また退任された谷口氏は、高岸会長就任とともに副会長として校友会活動を支えてこられ、長年にわたる東大阪市議会議員や社会福祉活動への貢献などで藍綬褒章受章、平成28年度校友顕彰を受賞されています。今後は理事の一員として、引き続き校友会運営に携わることになっています。なお、小城氏の任期は、谷口氏の残任期間を引き継ぎ1年間。



ご挨拶

一 学士会・校友会のあゆみ

校友会 会長 高岸 暎治

戦後、谷岡学園は1928年(昭和3年)に創立、1949年(昭和24年)に大阪城東大学として開学し、1952年(昭和27年)に大阪商業大学と改称されました。

昭和、平成、令和の3時代、6万人以上が卒業。建学の理念「世に役立つ人物の養成」は初代学長 谷岡登先生から2代学長 谷岡太郎先生そして、3代学長 谷岡一郎先生により、「理念」の具体的な内容が4つの柱となり①思いやりと礼節②基礎的実学③柔軟な思考力④楽しい生き方という理念の指針を打ち出し、在生も卒業生達も人生の「原基」としています。

大学の第1回卒業生は1953年(昭和28年)卒。商経学部一部27名(女性1名)、二部71名 計98名。二部(夜学)は1972年(昭和47年)学生募集停止。それは戦後日本の時代の変換期でした。現在は全学生4,490名内、女性学生660名(14.7%)です。校友会も平成9年に「学士会」から「校友会」に名称を変更しました。

1994年(平成6年)大学が卒業生を顕彰する制度である「校友顕彰制度」を発足し毎年この顕彰制度は続いています。第1回の顕彰者は、元大洋ホエールズ投手 第25期生齊藤明夫様でした。

校友会本部のある「校友会館」は、1978年(昭和53年)大阪商業大学 学士会館として竣工、1984年(昭和59年)学士会館増築工事竣工しました。

校友会の目的

- (1) 会員相互の情報交換と親睦を深める
- (2) 母校との連携を図る為の活動
- (3) 母校学生に対する助言と協力
- (4) 支部との連携を図る
- (5) 校友会館の運営に関する活動

校友会の理念

1. (社会人としての研鑽) 会員は常に社会人として人間性の研鑽に励み、切磋琢磨して教養を身につける。
2. (会員相互の発展) 会員は自律し、相互が一体感を持って協力すると共に、尊敬される人間として学び合い、自己の向上と会員の質的レベルをあげる為に活動し、総合教育や奉仕精神を養う。
3. (会員の責任) 一人ひとりの行動が校友会の評価に繋がることを自覚し、倫理観、道徳観を尊重しコンプライアンスを心がけ、社会の信用を得られるように責任をもった行動をする。
4. (母校への貢献) 会員は卒業生として誇りを持って、母校発展の為に自己の出来る範囲で貢献する。

※これは、2007年に「校友8号」に表明したものです。



ご挨拶

大阪商業大学 理事長・学長 谷岡 一郎

校友の皆様におかれましては、常に活躍されていることと存じます。学長として、心より感謝申し上げます。

皆様の母校、大阪商業大学は小粒でピリリと辛い、山椒のような大学にしたいと考えておりました。これは震災で亡くなった平岡源三元学部長が亡くなる10日前に私に言われた言葉であり、今も大切にしています。

来年が心配になるほど、今回の受験競争倍率は高く、試験区分によっては10倍を超えるものもありました。このいくばくかは、マンモス有名私立大が、当局の指導により入学人数を

絞ったことによりですが、他校の状況と比べましても、大商大の倍率はかなり高いものでした。おそらく先輩の方の活躍が世間で認知された効果も小さくないのでしょうか。来年からもベストを尽くします。宣伝だけ上手なマンモス私学に負けない内容で勝負です。

大商大が中心になって進めるJGSSという汎用データがあります。東京大学と共同で集め、(英語も含めて)発信するこのプロジェクトは20年を越えて進行中ですが、この度「データ・インフラストラクチャー拠点」に認定されました。社会科学のデータ整備・発信の拠点として優れた研究所に与えられる5年間の予算ですが、選ばれたのは東京大学、一橋大学、慶應大学、そして大商大の4大学のみ。応募した他の国立(京都市にあるK大学、神戸市にあるK大学、筑波市にあるT大学、仙台市にあるT大学)を押し退けての選出でした。国立にも負けんぞ。

校友

表紙: 谷岡記念館

第20号 発行: 令和元年8月

編集後記

70周年を迎える母校。現在、4万余にのぼる校友を数多く輩出している。振り返ればゼミ、部活動、大学祭に全力だった在学中のことが頭に浮かぶ。(授業の思い出が少ないのは冷や汗もの?) 母校の「世に役立つ人物の養成」の理念は「古希」を迎えても不変で、

ひ10月27日のホームカミングデイに足を運び、新校舎の竣工など時の移りとともに大きく変容したキャンパスや、地域や社会に必要とされる大学としての取り組みに注目していただきたい。その際には校友会本部にもぜひお立ち寄り下さい。

ご意見などお便りは下記宛にお送り下さい

大阪商業大学 校友会

〒577-0036 大阪府東大阪市御厨栄町1-7-22
電話: 06-6782-7243 FAX: 06-6782-6411

「校友」編集委員会

- 発行責任者: 高岸 暎治 (校友会会長)
- 編集相談役: 宇野 幸三 (校友会副会長)
- 編集委員長: 神戸 直樹 (校友会副会長)
- 編集委員: 篠山 和義 (校友会専務理事)
- 編集委員: 竹内 行弘 (校友会常任理事)
- 編集委員: 片山 雅之 (校友会会計監査)
- 大学側編集委員: 吉田 充 (大阪商業大学 学生生活課サマネジャー)